



主 題

ク ラ ブ 情 報

下田クラブ会長 『少数でも頑張るぞ』 臼井啓太郎
 【国際会長】 “Value, Extension and Leadership” Jacob Kristensen
 【アジア地域会長】 “Make a difference!” David Lua
 【東日本区理事】 “変化を楽しもう!” 板村哲也
 【富士山部長】 “ワイズだから出来る事が有る！
 粋にやろうぜ！富士山部！” 伊東一芳

会 長： 臼井啓太郎
 副 会 長： 池谷 淳
 直 前 会 長： 土屋 誠
 書 記： 土屋 恒夫
 会 計： 土屋 誠
 監 事： 長田 俊児
 監 事： 清野 大樹

第 4 7 2 回 9 月 お月見例会

日時：2020 年 9 月16 日(水) 18:30~21:00
 場所：下田ベイクロシオ 下田市柿崎 4-1 Tel 0558-27-2111
 受付：土屋 誠 Y's 司会：清野大樹 Y's

下田クラブの過去の
会報が閲覧できます



- ◇ 開会点鐘 臼井啓太郎会長
- ◇ 開会の言葉 土屋健治 Y's
- ◇ ワイズソング 一 同
- ◇ ワイズの信条 司 会
- ◇ 会長挨拶 臼井啓太郎会長
- ◇ ゲスト・ビジッター紹介 臼井啓太郎会長
- ◇ 富士山部長挨拶 伊藤一芳部長
- ◇ 書記報告 土屋恒夫書記
- ◇ 委員会報告 各委員会
- 場所移動
- ◇ 食前の感謝・乾杯 長田俊児 Y's
- ◇ 会 食 一 同
- ◇ 誕生日祝い／結婚祝い 親睦委員会
- ◇ スマイル 親睦委員会
- ◇ 出席率報告 プロ・ドラ委員会
- ◇ スマイル報告 親睦委員会
- ◇ 閉会の言葉 土屋恒夫 Y's
- ◇ 閉会点鐘 臼井啓太郎会長



土屋 誠 Y's
直前会長
会計



8月 誕生日祝い
土屋健治 Y's(右) 古希だそうです
おめでとうございます

The Y's Men's Club of Shimoda

THE SERVICE CLUB OF YMCA

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL OF Y'S MEN'S CLUBS

事務局：〒415-0022 静岡県下田市2丁目5-9

(臼井 啓太郎 会長 宅) ☎ 0558-23-3007

第 41 期 会報委員長 : 清野大樹(☎ 090-2798-4529),

誕生日祝い&結婚記念祝い

9月 Happy Birthday

土屋 誠 Y's 9月5日
土屋恒夫 Y's 9月12日
臼井啓太郎 Y's 9月28日

9月 Wedding Anniversary はおりません

今月の聖句

そこで弟子たちはイエスさまを船に乗せました。ところがすぐに激しい嵐が起きました。高い波が船の中に入って来て船は水で一杯になり始めました。イエスさまは枕に頭を載せて船の後ろで眠っていました。弟子たちはイエスさまを起こして大声で言いました。「先生、私たちが溺れ死にそうなのに気にされないのですか。」イエスさまは目を覚まして風を叱りつけ、波に向かって言いました。「静かに。静まりなさい。」すると突然風が止んで大なぎになりました。

So they took Jesus in the boat and started out. But soon a fierce storm came up. High waves were breaking into the boat, and it began to fill with water. Jesus was sleeping at the back of the boat with his head on a cushion. The disciples woke him up, shouting, "Teacher, don't you care that we're going to drown?" When Jesus woke up, he rebuked the wind and said to the waves, "Silence! Be still!" Suddenly the wind stopped, and there was a great calm.

マルコの福音書 第4章 36~41節

第471回 8月 例会出席等 報告

在籍者	8名	正会員数	7名
内休会員	1名	功労会員	1名

出席者数	6名	ゲスト	0名
出席率	100%	ビジター	0名
出席者総数	6名	メネット・コメント	0名

7月 メイキャップ 0名 修正出席率 %

8月スマイル	6,000円	キャップ累計	0.0kg
スマイル累計	12,000円	プルタブ累計	0.0kg

第473回 10月 例会 予定

日時: 10月21日(水) 18:30~21:00

場所: 下田ペイクロシオ

下田市柿崎 4-1 TEL 0558-27-2111

プログラム担当 予定者

受付 清野 大樹 Y's
司会 土屋 健治 Y's
開会の言葉 長田 俊児 Y's
食前の感謝 土屋 恒夫 Y's
閉会の言葉 土屋 誠 Y's

第4回 10月 運営委員会 案内

日時: 10月6日(火) 18:00 ~

場所: 可否館(1丁目 TEL 0558-22-8092)

毎月第1火曜日

8月 暑気払い例会報告

会計・親睦委員長 土屋 誠

8月例会は8月19日に下田中央公民会で開催し、暑気払い例会でしたが、新型コロナウイルスの感染予防から三密をさけるため、残念ながら飲み会は中止となりました。食事は近くの「瀧」よりテイクアウトして行いました。出席者は池谷ワイズを除き、下田ワイズ6人でした。

司会は私土屋が担当し、臼井会長の開会点鐘の後、清野ワイズが開会の言葉で開会宣言。ワイズソング、ワイズの信条に続き、会長挨拶。

その後雑談をしながら、食事を頂きました。誕生祝いは土屋健治ワイズ 8月29日生まれ古希でした。



スマイルも 6,000円頂きました。

閉会の言葉を長田ワイズが述べ、臼井会長の閉会点鐘で終了しました。最後にコロナウイルス感染が少しでも早く終結することを心から願っています。

1964 東京五輪は“永遠に不滅です”

書記 土屋恒夫

(1)千載一遇の好機

4年に一度しか巡って来ないオリンピック。それも自国での開催(アジアで初)となったのが昭和39年10月、絶好のスポーツシーズンに合わせて開かれた第18回東京大会であった。私は東京の大学へ進学。国立競技場と指呼の距離にある青山学院の3年在学中、21歳になったばかりだった。専攻は英米文学だがその当時は文学より英会話に傾倒。いわば英語漬けの生活だった。

母校へは“学生通訳”を始め英語関係の求人が多く寄せられた。語学力を生かしながら高収入が可能という一石二鳥のチャンスである。私が採用されたのは外国人ジャーナリストが詰めるプレスセンター(日本青年館)の受付。5大陸の人々が集う、願ってもない国際交流の場であった。

いくつかの幸運が重なり世界のスポーツの祭典に直接居合わせた3週間は我が人生の中でも特別な輝きを放つ。

(2)大義名分のある立派な大会

このオリンピックの特徴は「国民の合意」と「明確なコンセプト」があったことだ。東海道新幹線や首都高速道路(一部)開通を始め、戦後廃墟の中から立ち直った「科学技術先進国日本」の姿を世界に示すという狙いがあった。その頃はコンピューターやインターネットに象徴される情報通信社会の姿はあろうはずもなく、目に見えた開発や進歩が分かり易い時代だった。

庶民の営みも同様。同じ方向に向かって皆で力を合わせて生きていたように思う。個人の努力は自分自身に跳ね返って来た。オリンピックはその集大成。自然に盛り上がりを見せたのも時代の要請を受けた大会であったからだ。

競技力に於いても日本は世界に追いつき・追い越し、日本のスポーツ界に大きな財産を残した。そして国民には夢と感動を与えてくれた。

私の財産は手元に残る:①記念銀貨(百円・千円)②記念切手シート ③参加記念メダル、それに④英語への自信だ。

(3)後悔と満足

クラスメートのS君(山形県出身)とM君(鳥取県出身)は学生通訳の面接にパス、“英語の青山”の面目躍如の活躍だった。受付係の我々にも制

服が貸与されたが、組織委員会から彼等が支給されたuniform(上下)は重厚で格調高いもの。完全に負けたと思った。そもそも私は母校に学生通訳の募集が来たのを知らなかった。S君の話では1963年の夏休み前に掲示が出たらしいが、早々に実家に帰省していた私はこの“golden chance”をみすみす逸してしまったのだ。“ああ～、学生通訳をやりたいなあ～”

しかし私の仕事も思わぬハプニングがあったりして十分面白かった。来日したジャーナリストの荷物をプレスハウス(隣接の宿舎)まで運んでチップを頂戴したこと。個人的に親しくなったアフリカ系アメリカ人のMooreさんに浅草見物をプレゼントして貰ったこと。記者から国立競技場の入場券をタダで頂いたこと等、懐かしく思い出す。3週間のアルバイトで学生には身に余る報酬を得た。これを原資にテープレコーダーとタイプライターを購入した。一方、仕事で知り合った大学1年後輩のS嬢に旺文社の英文日記を贈ったのも甘い思い出である。

(4)私の本音:東京五輪は一度でいい

あの時の興奮から65年が経過した。今また東京オリンピック・パラリンピックが開かれようとしている。人生で2度もオリンピックを体験出来る私は幸せ者だ。しかも自転車競技のトラックレースが地元修善寺で行われる。東京まで出向かなくても五輪の応援が可能とは何と有難いことだろう。legacy(オリンピック遺産)として伊豆半島を自転車の聖地にしようとする動きもある。

しかし、2020年の大会は新型コロナウイルス・パンデミックに翻弄され、一年後の先送りが決まった。その上開催方式の簡素化まで取り糾(ただ)されている。

私は招致の段階からこの大会開催にむしろ懐疑的だった。「ええっ、またやるの?」「どうして?」の思いが今もくすぶる。自分にとってのオリンピックは前回の東京五輪だけ。その思い出は私の宝物。そっと心の小箱にしまっておきたい。大会がいつどこで開かれようとも私にとってオリンピックは1964年の東京大会以外にはあり得ない。

(作家中山千夏さんも伊豆新聞「ただいま雑記」で同意見を述べていた。)

10月 特別企画

須崎恵比寿島ジオガイド

講師 長田敏江さん

10月10日10時30分 現地集合

2020-21年度 富士山部 予定

- 第1回 役員会・評議会 2020年7月25日(土)
会場: 熱海 YMCA センター
中止になりました
- 富士山部 部大会 2020年9月26日(土)
富士山 YMCA グローバル・エコ・ヴィレッジ/富士宮
3名出席予定です。
- 第2回 役員会・評議会 2021年1月23日(土)
会場: 熱海 YMCA センター
- 第3回 役員会・評議会及び次期役員研修会
2021年5月22日(日) ホスト: 熱海クラブ
会場: 熱海 YMCA センター

前年度 東日本区表彰

下田クラブが受賞した
EMC-C 部門 出席率優秀賞
(90%以上)の賞状が届きました。



その他

- 伊東クラブ 9月例会
(9月14日変更し)
9月21日(祭日・月)13時より
桜の里キャンプ場に於いてBBQ例会開催
- 伊東クラブ 10月例会
10月12日(月)18:30～ 暖香園ボウル

パソコン実践ルーム予定

- 第40回 8/29(土) 14:00～ 長田宅
クラウドストレージ Dropbox の使い方 2
- 第41回 9/19(土) 14:00～ 土屋恒夫宅
メールソフト Outlook の使い方 1
- 第42回 10/3(土) 14:00～ 清野宅
メールソフト Outlook の使い方 2

池谷淳 著書「人去留影」(2004年)より

「2001～02年度富士山部長を終えて」

富士山部長を命じられ無我夢中の日々でした。暫くワイズ活動から離れており、果たしてメンバーの活動に対して適切な指導やアドバイスが出来るのか些か不安でした。



16年間ハンドルを握ら無いことを義務化されてきた首長の生活の中で専用のドライバーを必要とする生活習慣から問題がありました。

これらはクラブのメンバーによる献身的なサポートでクリア出来ましたが、自分自身の意識改革には暫くの時間が必要でした。

反芻する意識の底辺で最後に行き着いたものは、自分が苦勞して立ち上げたワイズでは無かったのか、未来に生きる子供達に夢や希望を与えられない地域にして良いのか、自問自答の日々が続きました。

公で生きた30年、もうこの辺でとの家族からの意見や提言そして要求がありました。

しかし私は全体の為に生きる人生を決意し、社会的弱者の側に生きる道を選ぶ人生を歩み、暖かい仲間の信頼に励まされ生きてこられた人生を考えると、与えられた任務を避けることは出来まいと観念しました。

高度成長と乱開発の中で自然を人間の欲望本位で開発した結果、今日私達は自然からの厳しい責めを受けています。インディアン言葉に「自然は子供達から預かったもの、自分達だけのために利用するものではない」というがあります。拝金主義時代にこの崇高な理念を個人も政治も忘れていました。

私は下田の水源上流部に計画されていた三個所のゴルフ場計画を断念させるため水源保護条例を静岡県で最初に作りました。

地域の活性化のためにゴルフ場は必要だと信ずる人たちが沢山いたときでした。

様々な団体や個人から攻撃されました。しかし脆くも高度成長のバブルは崩壊し安堵の思いでほっとしている市民も沢山います。

時代の流れに流されること無く子供達の未来を夢見られるシステムを確立することが、私達成人の任務です。

過ち無く時代の流れに迎合せず生きられたことに誇りと自負を感じています。

(次号に続く)